

2月の授業記録をお送りいたします。

長きにわたった受験シーズンも一段落し、忙しい日常の中で意識することのなかった窓外の風景にふと目をやれば、校舎の周りには紅白の色彩鮮やかな梅の花をはじめ、彩り豊かな花々がそこかしこに見られるようになってきました。花卉を濡らす雨が降る毎に感じる寒さの和らぎに本格的な春の訪れが感じられます今日この頃、ご父母各位におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。



当個別指導会は、3月1日（水）に新年度を迎えました。継続手続きをとられました在塾生ならびにご父母各位のご期待に今添えますよう、私たち講師陣一同本年度もお子様の学力向上を図るべく、情熱をもって指導にあたっております。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、すでにご案内の通り、3月27日（月）より正味12日間にわたって「春期講習」が実施されます。前学年で学習した内容の復習や、その総まとめ、または新年度の学習内容の予習などを通じて基礎学力や応用力の向上を図り、新しい学年へ向けその学力を確かなものとする好機です。ぜひご参加をご検討ください。

受験生及びそのご父母各位へ

去る3月10日（金）の県立高校入試の合格発表をもって、中学・高校・大学受験の全日程が終了しました。各校舎に続々と合格の朗報が届き、塾内は活気と喜びに満ちあふれております。

生徒ならびにそのご父母各位と同じく、私たち講師陣一同も大きな安堵感と達成感を共有できますことは、この上ない喜びでございます。また、多くの塾生たちが自分の弱気や不安に打ち勝って受験という目標へ真剣に立ち向かっていったことそれ自体が、合否を超えるものとして大変誇りに思います。惜しくも第一志望校への合格を果たせず、第二志望校に甘んじた生徒たちも残念ながらいま。しかし、いずれにしても今はゆっくりと心身を休め、新たに始まる学校生活に夢と希望をふくらませながら、新たな一歩を踏み出していきましょう。

若い皆さんにとっては、これからの人生の中でいくらかでもチャレンジの機会があります。未来への夢や希望を持ち続けて、あらゆることに積極的にチャレンジしていきましょう。

最後に、受験生のみなさんとご父母各位へ心から「おめでとうございます」!!!

■塾からのご案内■

● **通常のお月謝を、原則「引き落とし」に移行させていただきます。**

2017年度より通常月におけるお月謝の納入を原則「引き落とし」で行わせていただくことになりました。すでにお手続きがお済みのご家庭は問題ございませんが、まだお手続きがお済みでないご家庭に関しましては教室よりご案内の上、順次「引き落とし」へ移行させていただきます。なお、ご家庭の事情によりどうしても「現金でのお月謝のご納入」をご希望の場合は、お手数ですが教室までその旨をお知らせください。また、「季節講習」（春期・夏期・冬期講習）や「北辰テスト」の受験費用などは、従来通り現金でお納め下さい。

学習のアドバイス

入試が一段落しましたので、今回は新年度に向けていいスタートを切るために、「日常学習の仕方」についてアドバイスしたいと思いますので、参考にしてください。

「日常学習の仕方」を考えるうえで、まず見直さなければならないことは、「テスト1週間前の勉強の仕方」です。提出期限が迫っている学校のワークを、テスト対策期間中に必死で進めてはいませんか？

そして、間に合わないからといって、答えを丸写ししてはいませんか？ 学校のワークはテスト直前に一気にやるもので

はありません。学校の授業で習ったことを正しく理解しているかを、その日のうちに確認するためのものですから、毎日コツコツと取り組んでください。毎日が無理であれば、土日を利用して授業で進んだところまで終わらせておきましょう。このときに気を付けることは、「できなかった、あるいは間違えた問題は、正解を書き込まずに空欄にしておく」ということです。こうしておくことで、テスト直前に苦手な問題だけを効率よく復習することができます。

しかし、ワークや問題集の問題をひたすら解いているだけでは、成績は上がりません。「問題を解く」という作業はあくまで「学習した内容を理解しているか」を試すためのものですから、内容を理解していなければ間違いだらけになってしまいます。そうならないようにするために、学校の授業をきちんと受けることは当然ですが、授業を受ける前に「教科書をじっくり読み込む」ことに取り組んでください。そして学習する内容に関して自分なりのイメージを作ってから授業に臨みましょう。具体的には、「国語」と「英語」は意味が分からなかったり曖昧だったりする単語や語句は必ず辞書で調べてください。「数学」では、例題を参考にしながら練習問題を解いてみてください。「社会」と「理科」については、教科書にざっと目を通しておくだけで構いませんが、ワークや問題集に取り組む前に、教科書の内容をノートに自分の言葉でまとめてみてください。こうした小さな努力が必ず結果に結びつくはずですよ。

◆県立高校入試の変更点の影響◆

平成29年度入試（平成29年3月実施）から学力検査の実施方法について2点変更がありました。その内容と影響について簡単に分析してみたいと思います。変更点は以下の通りでした。

その1 社会と理科の学力検査時間が40分から50分になりました。

その2 数学と英語の問題が、標準レベルの「学力検査問題」と応用レベルを含む「学校選択問題」に分かれました。

その1については変更理由が「じっくり考えて解答する時間を確保するため」となっていましたので、問題量はそれほど変化しないと予想しましたが、やはり問題数と構成はほとんど変わりませんでした。記述形式で解答する問題が増えましたが、内容が典型的なものでしたので、時間的な影響はなかったと思われます。全体的な難易度も例年通りでした。

その2についてですが、英語と数学で大きな違いがありました。数学では、サンプル問題が過去問をベースにしたものであったのに対し、実際の入試問題では、これまでに出题されなかった形式の問題が多く、過去問を中心に対策をしていた人は、かなり戸惑ったのではないのでしょうか。ただし、得点配分や形式に差はありますが、全体の6割程度がサンプル問題と同様に「学力検査問題」と「学校選択問題」で共通でした。一方、英語については、サンプル問題にかなり近い形で出题され、リスニングと対話文読解が共通問題でした。また、共通問題の配点も数学と同様に全体の6割弱でした。条件英作文だけが、サンプル問題と違って共通問題ではありませんでしたが、大きな影響はなさそうです。尚、詳しい分析は後日ホームページにて行わせていただきます。



教室長日記

自分で丸付けをする時のポイントは…？



皆さんは塾での学習以外にも、学校への提出物や、自分の課題等を進めていることと思います。その際は、自分で答え合わせをして丸付けをすることもあろうでしょう。

正確な丸付けは自学自習の基本です。そこで、今回は丸付けの時に是非気を付けてもらいたいことをお伝えします。

1. 丸付けはこまめに。

丸付けをしないままどんどん進むことは、非常に危険です。間違いがあったときにすぐに気付かないだけでなく、その間違いに基づくイメージが広がってしまいます。「おかしい」と思ったときにはすでにかなり進んでしまっており、やり直しにかなりの時間を費やすことにもなります。できれば大問が1つ終わるごとに、多くとも問題集の1ページが終わるごとに必ず丸付けをしましょう。誤答があればその都度直しを行うことで、すぐに修正することができます。

2. 丸付けは丹精込めて。

宿題等、生徒に丸付けまでをさせたものを講師が確認したときに、誤答に丸がついていることが時々あります。むしろ「自信がある」と思っている人ほどその傾向が見られます。

模範解答と自分の答えを、つぶさに照合して下さい。自分が正解を出せたことを確認すること、また誤答の原因を解明し、正解に至る道筋を検証することで、正確な知識と思考力・表現力がそなわっていくのです。

丸付けは確かに手間のかかる作業ですが、丸付けされずに放置されたものは、ただの「思い込み」です。丸付けによって客観的な裏付けが行われることによって、思い込みが「真実」に変わり、本当の自信につながるのです。

丸付けしたものの、今一つ自信がない、というときは、それをぜひ教室に持ってきてください。

（航空公園校 安達）